

09年就職戦線

キャリアセンター 丸太初太郎部長に聞く

世界金融危機の影響は？

就活対策は？

2010年春に卒業予定の大学3年生の就活（就職活動）が、本格的にはじまった。アメリカ発の世界的な金融危機による景気減速で、「売り手市場」から一転して厳しい状況になるのではないかと心配されている。企業の新規採用に影響は出てくるのか、対策はどうしたらよいか、などキャリアセンターの丸太初太郎部長に聞いた。

学生記者

伊藤知広 経済学部3年

駒田恵 法学部3年

吉田百合香 法学部3年

情報に踊らされず、冷静に判断を
採用数は減ではなく、例年並みに

——まず、09年就職戦線の状況をどう思われま

すか。アメリカ発の金融危機の影響が、新卒の採用状況にも影響が出てきているように伝えられています。私たち3人は、就活を迎えた3年生で、不安なのですが…。

判断してほしいです。

実際にまだ具体的な数値（有効求人倍率など）が出ていないわけではなく、予想で言っているにすぎないからです。基本的に採用数が増えることはないと思われませんが、それは採用数を減らすとい

うことではなく、ここ数年で大幅に増えていた採用数を例年並みに戻すということです。

というのもバブル後の就職氷河期の際に新卒採用数をひどく削減したり、ゼロにしてしまった企業は、その世代の社員がごっそり抜けてしまっただけで構成にひずみがでてしまっています。

その人員不足を埋めるためと、団塊世代の退職の補充、それとここ数年景気が回復したことをきっかけに採用を盛んに行いました。その結果、人員不足がある程度、ここ数年で補えたことも確かですが、企業はこの苦い経験があるので、近年のようにやたらに採用数を増やしてはしないでしようが、基本的な人数は確保したいと考えているので、それほど心配する必要はないでしょう。

また中央大学は例のひどい就職氷河期においても就職決定率は90%後半で移行しています。社会には中央大学のOBがたくさんいます。そうした先輩達が先輩をサポートしてくれることによって、このような高い就職決定率を保っていただけるのです。

キャリアカウンセラーがアドバイス

HPの「就職のてびき」の活用を

——キャリアセンターでは、どのような就職支

中央大学 就職のてびき
PLACEMENT GUIDE
2008

CONTENTS

1. 就職のてびきとは	2. 就職のてびきの目的	3. 就職のてびきの対象
4. 就職のてびきの実施時期	5. 就職のてびきの実施方法	6. 就職のてびきの実施場所
7. 就職のてびきの実施内容	8. 就職のてびきの実施結果	9. 就職のてびきの実施費用
10. 就職のてびきの実施効果	11. 就職のてびきの実施意義	12. 就職のてびきの実施留意点
13. 就職のてびきの実施問い合わせ先	14. 就職のてびきの実施お問い合わせ先	15. 就職のてびきの実施お問い合わせ先

ホームページ上の「就職のてびき」

援をしていただけるのでしょうか。

丸太 キャリアセンターへの相談数は年間延べ6000〜6500件です。キャリアセンターでは履歴書やエントリーシートの添削、模擬面接、内定辞退の方法のアドバイスなど、就職に関わる様々な支援体制を整えています。また相談者の話を上手に聞きだすことに長けた専門の資格を持ったキャリアカウンセラーもおりますので、みなさんのお役に立つことができるでしょう。

キャリアセンターには、専任職員が16名おりますが、そのうち6名はキャリアカウンセラーの資格を持っています。一人の相談時間は一回30分となっておりますので、相談したい事柄をあらかじめ絞ってきてもらえるより深いアドバイスができると思います。

また、もう一つお知らせしておきたいのがキャリアセンターが作成した「就職のてびき」というサイトです。中央大学のホームページのトップ画面上部に表示される、学生生活・就職↓キャリア・就職支援（多摩）またはキャリア・就職支援（理工）と進むと、画面右側に「就職のてびき」というサイトへのバナーが貼り付けてあります。

「就職のてびき」では就活に関わるあらゆるコンテンツが記載されています。どれも実用的で役に立つものばかりなので、ぜひ就活中の学生は一度覗いて欲しいです。

自己分析をしつかりする 両親やゼミの先生に聞くことも

——就活の準備を、具体的にどのようにすればよろしいでしょうか。



質問に答える丸太部長

丸太 就活の進め方は、とにかくまず自己分析です。自分で自分をよく理解して、はじめて他人に自分を上手く説明できるものです。

自己PRは決して書くためのものではありません。面接のために話す材料を書類用に短く凝縮したものとお考え下さい。どのように企業にアピールするかをよく考えてしっかりとしたものをつくってほしいと思います。

企業にアピールする材料として自分について幅広く研究してみてください。よく友達に自己PRを

見てもらう人がいますが、私としてはあまりお勧めしません。なぜかと言うとそうした場合、友達の本音を言ってくれないことが多いからです。私はゼミの先生に見てもらうことを推奨しています。

みなさんと授業やゼミを通して1〜2年間接してきた先生はあなたのことをよく知っているでしょうし、教師の目線からの的確なアドバイスがもらえるでしょう。それと誰よりもみなさんと長く過ごしてきたご両親にみてもらうのもやはり重要です。とにかく第三者に見てもらうのは必須です。キャリアセンターも是非ご利用ください。

企業が知りたいのは結果でなく過程 準備不足では内定得られず

——学生時代に取り組んだことと、自己PRを作成する際のポイントについて教えてください。

丸太 学生時代に力を入れた活動について書くときにポイントとなるのは、企業があなたの何を知りたいのかを理解することです。企業が知りたいのは、その活動をした原因でも結果でもなくて、その間にある「過程」なのです。そのことを意識して書いてください。

その「過程」をどう結果に結び付けていったのかということを採用担当者は見ているのです。



丸太部長

自己PRについては、よく毎回使い分けるべきかという質問を受けます。毎回使い分けるのは、あまり良くないです。これと思う自己PRを一つ決めて、どこに行っても自信を持って言えるようにするのがよいのではないのでしょうか。もう一つ、自己PRに書く価値観は一つに絞り、エピソードつきで説明するのをお勧めします。

——最近よく「学生の二極分化」ということを聞きますが、どういうことですか。

丸太 近年採用の厳選化が進み、内定がもらえる学生とそうでない学生の二極分化が進んでいるということですね。内定がもらえない原因は何と言っても準備不足でしょう。自己分析、業界・企業研究といった準備をきちんとしているのかが別かれ道となります。

先輩から就活は楽勝だと聞いて、その言葉を真

に受けて全く準備をしない人がいますが言語道断です。どんなに優れた人格でも、準備不足だとまですっかりと準備してきた学生には太刀打ちできません。遅くとも12月には動き出すべきでしょう。

業界研究セミナーで幅広く情報を 1月末から約700社の企業研究

——就職活動の早期化もまた話題になつていますが、それに関してはどのようにお考えですか。

丸太 採用の早期化が近年確かに進んでいます。そのために経団連は卒業学年に達していない学生に面接などの選考活動を行うことを自粛する「新規学卒者の採用選考に関する企業の倫理憲章」(通称倫理憲章)を新卒採用を行う全ての企業に遵守するように求めています。採用の早期化による学業への支障が問題視されているからです。

また自分が本場に就きたい職業について考える時間も減る、早くに就職が決まった学生はその後学校の勉強に熱心に取り組まなくなりがち、といった弊害もあります。

——セミナーと授業が重なることが多く困っているのですか…。

丸太 私どもとしてはその対策として、定期的に行われる就職ガイダンスはもちろんのこと業界



学生記者にデータを示しながら説明

研究を行っています。業界研究とは、中央大学に企業の方に来てもらってその業界について説明をしていただくセミナーです。毎年多くの企業に来ていただいています。

中央大学、特に多摩キャンパスは都心から離れているため、企業セミナーに行くのに大変苦労します。平日に開かれている場合は授業を欠席して参加しなければなりません。そのため、企業の方

からこちらに来て頂いてもらっています。それまで興味のなかった業界でもセミナーに参加して興味が出てくることもあります。ですから最初から志望する業界を絞っていくのではなく、広く見てくださいから徐々に狭くしていく方がいいでしょう。

それから学内企業セミナーがあります。今年は約700社ほどお呼びする予定です。これほど多くの企業が大学に来てくれるのは中央大学だけではないでしょうか。1月末から2月にかけて開催します。ぜひ参加してもらいたいと思います。

本当にやりたいことを考える 重要なコミュニケーション能力

——私は地方出身者なので、地元の就職も視野に入れていきます。そちらの状況はいかがでしょうか。

丸太 Uターンについては、しっかりとした地場産業がある所であれば厳しいかもしれませんが、となると、Uターンする学生の希望は地銀・市役所・県庁などに集中することになります。そういった職場を狙うのであればかなりの高倍率を覚悟してください。

——国家公務員試験と民間企業への就活を並行

して進めていくことは可能でしょうか。

丸太 国家公務員試験と民間企業を並行して進めていきたいという相談はよく受けます。公務員試験は6月なので年明けから本格的に対策を進めなければなりません。一方でその期間は民間企業の新卒採用が本格化する時期でもあります。スケジュール調整をするのは本当に大変です。やはり自分が本当にやりたいこと、なりたいことをよく考えてどちらかに絞るのが得策でしょう。

——最後に今年、就職活動に取り組む学生にアドバイスをお願いします。

丸太 今企業が学生に最も求める能力はコミュニケーション能力です。もう少し具体的に言うと、自分の考えをどこから借りてきたような言葉でなく自分の言葉で相手にわかりやすいように説明する能力、相手の言っていることを正確に把握する能力、などが挙げられます。

話し上手は聞き上手、というように、話すことが得意な人は概して聞き上手です。この能力を上げるのに必要なのは、とにかく大学にばかりいないで積極的に都心部に出かけて、いろいろな人と交流することです。他大学の学生と遊ぶのもよし、社会人と話すのもよしです。